

研究課題名	悪性リンパ腫に対する R-CHOP 療法の有害事象に与える因子の検討
研究の意義・目的	R-CHOP（リツキシマブ、シクロホスファミド、ドキシソルピシン、ビンクリスチン、プレドニゾロン）療法はびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫などの悪性リンパ腫の標準治療として使用されています。抗がん剤治療は年齢、体重、肝機能、腎機能や併用薬により、好中球減少などの副作用が発現しやすくなることが報告されており、生活の質を下げることや、治療の継続が困難となる原因となります。本研究により、どのような因子を持つ患者さんで副作用が起こりやすくなるか明らかにし、副作用軽減や早期発見・早期治療に貢献することを目的とします。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2027 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2007 年 1 月～2024 年 12 月の間に大阪公立大学医学部附属病院の R-CHOP 治療を受けられた方が対象となります
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、治療歴、併用薬、検査値、診療記録】
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院のみで行います。 【研究責任者】柴野雅仁
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部 柴野雅仁 電話番号：06-6645-2277